

(記入例：既往の借入金残高と同額で借り換える場合)

信用保証協会 御中

平成15年 2月10日

住 所：東京都中央区京橋3丁目19番地

申込人：株式会社A建設 印

事業計画書

1. 借入申込の内容

融資対象既往借入金の状況					
金融機関名	借入日	当初借入額	現在残高	月返済額	最終期日
乙信金	9年10月7日	8,000千円	1,920千円	95千円	16年10月7日
乙信金	12年9月7日	5,000千円	2,593千円	83千円	17年9月7日
丙信組	13年5月10日	5,000千円	1,743千円	83千円	18年5月10日
	年 月 日	千円	千円	千円	年 月 日
	年 月 日	千円	千円	千円	年 月 日
	年 月 日	千円	千円	千円	年 月 日
小 計			(A) 6,256千円	(C) 261千円	
増額借入希望額		(B) 0千円	(D) 千円	72回返済	
借入申込額(との合計)		(A+B) 6,256千円	(E) 87千円	21年2月10日	

2. 今回の借入による効果

1. 新規借入を伴わない場合(同額借換)	
(C) - (E) =	174千円(F) (= 毎月の返済負担軽減効果)
(F) × 12 =	2,088千円(G) (= 年間の返済負担軽減効果)
2. 新規借入を伴う場合	
(C) + (D) =	千円(H) (= 新規借入のみをした場合の毎月返済額)
(H) - (E) =	千円(I) (= 毎月の返済負担軽減効果)
(I) × 12 =	千円(J) (= 年間の返済負担軽減効果)

3. 今後計画的に取り組む事項(次の項目の内該当するものを で囲み、具体的に記載して下さい)

1. 売上・受注の増加を図る	②. 収益性の向上を図る	3. その他
<ul style="list-style-type: none"> ・役員報酬を年間2,000千円圧縮する。 ・従業員を通年雇用から季節雇用中心に切り替える等人件費の削減を図る。 ・現場の管理を徹底し、全般的な経費削減を図る。 		

4. 経営の実績及び見込み

(単位：千円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	借入金返済額
前年度実績 14年9月期	187,111	52	1,189	1,189	4,000
今年度見込 15年9月期	172,000	2,200	2,500	2,500	2,782
翌年度見込 16年9月期	170,000	1,000	500	500	1,912